



気仙沼市社協キャラクター
あかりちゃん

気仙沼市 社協だより

編集
発行

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

〈公式ホームページ〉 <http://kesenuma-shakyo.jp/>



公式 LINE
友だち募集中!

スマートフォンの
LINEアプリから
「友だち追加」できます。



本 所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番地2
TEL 0226-22-0709 / FAX 0226-22-4467
E-mail : keshakyo@watch.ocn.ne.jp

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3(唐桑保健福祉センター「燦さん館」内)
TEL 0226-31-2051 / FAX 0226-31-2052
E-mail : karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6
TEL 0226-42-2231 / FAX 0226-42-1241
E-mail : moto-sha@kind.ocn.ne.jp

笑顔であふれた敬老会



9月9日 / 松岩地区

松岩地区と面瀬地区において、4年ぶりに地区社協主催の敬老会が開催され、子どもたちによる敬老作文の朗読、踊りや太鼓などのアトラクションが花を添えました。また、友人や顔見知りとの久しぶりの再会に、参加された方からは笑顔があふれていました。

このほか、各地区でも敬老会が開催されています。



9月10日 / 面瀬地区

気仙沼市社協

敬老作文 最優秀賞

わたしのぴいばあちゃん

鹿折小学校一年 藤村莉衣

わたしが生まれたとき、ぴいばあちゃんもいました。ぴいばあちゃんにだっこしてもらったり、おんぶしてもらったりしました。一ばんうれしかったのは、にわにブランコをつくってもらったことです。ブランコにのるとかぜがふいてとてもきもちよかったです。ぴいばあちゃんがなくなると、ぴいばあちゃんはさみしかったですとおもいます。いまは、げんきになって、あさはやくからゆうがたまで、はたけでやさいをつくっています。あめがふっても、かさをさしてたんぽのくさとりをします。わたしは、とつてもはたらきもののぴいばあちゃんがい

すきです。

ぴいばあちゃんは、はたけでまめをそだてて、とうふをつくってくれます。みずにつけておいたまめをミキサーでこまかくします。わたしもやってみたくなくてつだいました。ミキサーにまめをいれるときに、「あんまりいっぺいいれんすなよ。」と、おしえてくれました。そして、「りいちゃん、これがとうふにゆうつつうんだよ。とうふのもとだよ。」とおしえてくれました。また、つぎのひ、わたしが

気仙沼市社協では、九月八日に敬老作文コンクール審査会を開催しました。

市内の小学校一年生から六年生を対象に作品を募集。今年には六十四作品の応募がありました。審査の結果、最優秀賞に六編、優秀賞に十八編の作品が選ばれました。今号では、最優秀賞作品をご紹介します。

だいをしてつくったとうふが とてもおいしかったです。

おゆうはんにてできました。ママがつくったタレをかけてたべました。「すこしやわこくなつてしまったなあ。」

と、ぴいばあちゃんはわらっていましたが、みんなだべたぴいばあちゃんとうふは、もずつとげんきでいてね。

~~~~~

## ぴいちゃんのけっごはん

松岩小学校二年 大野天音

わたしのぴいちゃんは、わたしが一年生の十月に九十七才で天国へ行ってしまうた。

わたしは、わたしが小さいころのことで、はつきりとは覚えていません。しゃしんを見たり、お母さんたちから話をきいたりして、たくさんぴいちゃんのことを覚えてもらいました。ですが、

わたしの中でずっとおぼえているぴいちゃんの思い出の味があります。ぴいちゃんは、天国に行ってしまう少し前まで、りょうりやそうじなど、自分のことはなんでも一人でやっていたそうです。そんなぴいちゃんのとくいりようりは、「けっごはん」です。「けっごはん」とはホタテやアサリが入ったたきこみごはんです。わたしがぴいちゃんの家にあそびにいくと、いつも作ってくれました。ぴいちゃんの「けっごはん」が大好きです。

わたしが覚えているぴいちゃんはおなかのびようきになって、入いんをして、おうちにかえってきた後もねたきりになってしまいました。そんな時にも、「あーちゃん元気かな。」と心配してくれたり、わたしがあそびに行くと、ここにこわらいかけてくれたり

わたしの途中でずっとおぼえているぴいちゃんの思い出の味があります。

わたしは、天国に行ってしまう少し前まで、りょうりやそうじなど、自分のことはなんでも一人でやっていたそうです。そんなぴいちゃんのとくいりようりは、「けっごはん」です。「けっごはん」とはホタテやアサリが入ったたきこみごはんです。わたしがぴいちゃんの家にあそびにいくと、いつも作ってくれました。ぴいちゃんの「けっごはん」が大好きです。



しました。ぴいちゃんもいたところ、わたしもさいごのおわかいとところがたくさんあるはずなのに、わたしやみんなのこをいつも気にしてくれて、ぴいちゃんはとてもやさしかったです。

ぴいちゃんが天国へ行くこと

がたべたいです。

## ぼくのおばあちゃん

新城小学校三年

弘瀬敏蒼

ぼくのおばあちゃんは、やさしくて、いつもここに近くに住んでいるので、前はよく行っていました。コロナ禍になってから行く回数が少し減りました。それでも、行事を見に来ることができないおばあちゃんに、さつえいしたビデオを持って見せに行くこと、画面の中のぼくを探すとを楽しみながら、喜んでここにビデオを見てくれました。喜ぶおばあちゃんを見て、ぼくもうれしかったです。遊びに行ったときに、その辺に

「一年生になったのかあ。」といつも以上に笑顔で喜んでくれていました。あのときのように、ぼくと弟が二人で並んだランドセル姿を見てほしかったです。

ぼくは、おばあちゃんが亡くなったのを母から聞いてとても悲しかったです。見せることも話すことも、今はできないことだらけになってしまいました。仏さんの前で話してもこたえは返ってきません。さみしい気持ちでいっぱいです。でも、きつといままでと同じように、笑顔で見たり、聞いたりしてくれていると思っています。

おばあちゃん、ぼくは三年生になって、字をきれいに書くことをがんばっているよ。体育では、水泳を練習しているよ。ビート板を使って泳げるようになったよ。習い事の公文では、中学校の内ようも勉強しているよ。これからもここにこしたおばあちゃんに天国から見守ってほしいです。

## 優秀賞

- わたしのおばあちゃん 階上小一年 鈴木 愛理
- ぼくのたいせつなひと 唐桑小一年 梶原 大翔
- じいじは、はたらきもの 津谷小一年 白井 詩織
- わたしのじいじとばあば 気仙沼小二年 菊田 希羽
- ぼくのおやじさん 鹿折小二年 平井 千瑛
- 私のおきなわのおばあちゃん 唐桑小二年 石塚 莉桜
- わたしのひいおばあちゃん 九条小三年 前田 莉結
- じいちゃんとの思い出 階上小三年 菅原 心春
- やさしいおつぴちゃん 面瀬小三年 佐藤 絵音
- ぼくのスーパーばあば 気仙沼小四年 菅原 昂
- いつもありがとう 鹿折小四年 小野寺 奏音
- ピー子ちゃんとおばあちゃん 中井小四年 千葉 大輝
- ひいおばあちゃんとおごした十日間 気仙沼小五年 千葉 蓮輝
- 見守っていてね、おじいちゃん 九条小五年 石崎 道
- ぼくのおじいじとばあば 大島小五年 菊田 遙孔
- おばあちゃんの梅干し 新城小六年 小松 夢
- 「おつぴちゃん、ありがとう。」 面瀬小六年 佐藤 琉
- 家族が一番のおばあちゃん 小泉小六年 岩渕 風汰

## もう一人の大切な

## おばあちゃん

新城小学校四年 永野 凜 夢

夏の時期になると、よく思  
い出すのが、数年前に亡く  
なったおじいちゃんとおばあ  
ちゃんのことです。二人とも  
いちごミルクのかき氷やスイ  
カが大好きでした。

「おにぎりあるよ。」

今ではほくもかき氷が大好  
きで、この夏ももちろん食べ  
ました。また、家族に作っ  
てあげたり、近所の仲よしのお  
ばあちゃんに持って行ったり  
しました。

仲よしのおばあちゃんとい

うのは、おうちの向かいに住  
んでいるおばあちゃんのこと  
です。ほくが小さいころから

仲よしです。おじいちゃん、お  
ばあちゃんがなくなっている

ほくにとっては、家族のよう  
なとても大切なそんざいです。

学校から帰ると、いつも向  
かいのおばあちゃんのおうち

んお話しをして、おばあちゃ  
んのとりにふとんをしいて  
もらってねました。朝はもち  
ろん早起きで、旅館に出てく  
るような朝ごはんを作ってく  
れて、とてもおいしかったで  
す。来年もぜったい泊まりに  
行こうと思います。

いつもニコニコでとてもや  
さしいおばあちゃんは、八十

才をすぎています。家の草  
取りはもちろん近所の草取り

や畑仕事をイヤな顔一つせず  
やっています。最近、少し

目の調子が悪いので心配して  
います。病院には通っている

ようなので、早く良くなる  
といいなと思います。

ほくは、これからもたくさ  
ん向かいのおばあちゃんのお

うちに遊びに行き、色々なお  
話をしたいと思います。ほく

に手伝えることがあれば、お  
手伝いしたいと思います。体

に気を付けて、ほくのおじい  
ちゃん、おばあちゃんの方も  
長生きしてほしいです。

## ◆令和5年度敬老作文講評◆

本会では、敬老の日を迎えるに当たって、児童が高齢者に対  
する理解を深めながら敬老の心を培うことを目的とした敬老作  
文コンクールを行いました。

市内14の小学校より64点のご応募をいただ  
き、元教員、福祉関係者などの審査員9名に  
より厳正なる審査を行い、最優秀賞6点、優  
秀賞18点が選ばれました。



## 【講評】

1・2年生…祖父母や近所に住む高齢者とのふれあいや様々な  
活動を一緒に楽しんでいる内容が多くみられた。また、亡  
くなった祖父母との思い出を今に繋いでいる作品もあり、  
子ども達の優しい気持ちが伝わってきた。

3・4年生…祖父母の素晴らしいところを自分の言葉で丁寧に  
表現している。祖父母の生き方や思い出などを通して、自  
分がしてほしいことやどのように生きていきたいかとい  
う気持ちが伝わってくる作品が多くあった。

5・6年生…同居する祖父母だけでなく、離れて暮らす祖父母  
との関わりや亡くなった祖父母への思いをまとめた作品も  
多かった。高学年の作品だけあって、表現に迫力があり、  
実感を伴った読み応えのある作品も見られた。また、祖父  
母との生活紹介とその感想だけでなく、関わりから学んだ  
ことなど、自分の思いを膨らませることで、更に良い作品  
が多くなるのではないかと感じた。

来年もまた、心温まる多くの作品と出会うことを楽しみに  
しています。





# ぼくの幸せ

面瀬小学校五年 菅原史穂

多くの家族は六人家族です。でくれて、くやしい時は一緒にお父さん、お母さん、弟、じに泣いてくれて、たまにしかいじ、ばあばの六人です。ほられることもあるけれど、いくは生まれた時から、じいじつもぼくの味方でいてくれて、とばあばとずっと一緒にいます。たくさんほめてくれるじいじす。ぼくにとってはそれが当とばあば。ぼくはそんなじいじたり前だけど、それってすごじとばあばが大好きです。く幸せなことで、当たり前でそんなじいじとばあばと過はないことなんだと思います。ごす、ぼくが大切にしている二人ともまだ働いています。特別な時間があります。それそれでも、学校へ送ってくれは夕ご飯の時間です。ぼくのたり、ご飯を作ってくれたり、家では、夕ご飯は家族そろっぼくと弟のものをとでもかわて食べるようになっていきます。いがつてくれます。お父さんぼくはこの時間が好きです。やお母さんにしかられて落ち学校であつたこと、友だちのこんでいる時は、話を聞いてこと、習い事のこと、その日くくてアドバイスをくれたり、にあつたことを聞いてもらいなぐさめてくれます。これは、ながらご飯を食べます。もちぼくにとつての特別な時間です。ろんぼくも、じいじとばあばす。うれしい時は一緒に喜んでの仕事の話をたくさん聞



きます。ぼくなんかよりいやなこともたくさんあるのに、いつも笑顔で笑いの絶えないご飯の時間を作ってくれるので、とてもうれしいです。ぼくは大人になったら、じいじとばあばにおん返しをしたいです。そのためにも、じいじとばあばにはまだまだ長生きしてもらわないといけません。つかれている時はそつとかたをもんであげたり、お風ろでせ中を流してあげたり、

少しでもじいじとばあばのたていきたいです。めになる時間を作っていきたくて、じいじとばあばがいなくていいです。となんて考えたこともありま

いつも一緒に過ごしているじいじとばあばだけど、当たり前ではないこの時間をこれからもずっとずっと大切にしたいです。いつまでも長生きしてね。

# ひいおじいちゃんへ

大谷小学校六年 菅原奏音

私のひいおじいちゃんは、

一番下の妹が一才になる前に亡くなりました。ひいおじいちゃんはいつも笑顔で、みんなのことをすぐに楽しませてくれました。私は、そんなひいおじいちゃんのことを大好きでした。お母さんから、「ひいおじいちゃんは天国に行つたんだよ。」と言われた時、私はくやしさと悲しみで心が真っ暗になり

ひいおじいちゃんも、もう六年がたちました。六年たった今でも、私はいつも笑顔をくれたひいおじいちゃんを思い出します。私は友達に自分から上手く話しかけることができず、悩んでいたことがありました。私の家は学校からとても近いので、一人で登下校することが多く、友達といろいろなお



話をしたくても、仲の良い友

く生きてほしいな。」

達は帰る方向がちがうので、  
と言いました。それを聞いた  
私、

「うん、がんばる。約束ね。」  
と言つて、ひいおじいちゃん

の姿を天国で見てほしい  
なあと思っています。そして私は、  
笑顔のかけ橋となって、たく  
さんの人に笑顔を届けたいで  
す。

か、学校でもあまり笑顔を作  
れずにいたような気がします。  
と約束をしたのです。ひいお

じいちゃんはもう生きていな

天国のひいおじいちゃんへ

でもある時、私は「ひいおじ  
いちゃんみたいにずっと笑顔  
で長く生きたいな」と思うよ

守らなくてもいいんじゃない

ひいおじいちゃん、奏音で  
ます。もう少しで十二才になり

うになりました。そう思うよ  
かと思う人もいるかもしれま

せんが、私はひいおじいちゃ

天国で見ていてね。ひいおじ  
いちゃんのこと、絶対に忘れ

うになってから、私はイン  
ターネットや本で人を笑わせ  
る方法を調べるようになりま

はしません。今、私は子ども

ないよ。

した。そして、調べたことを  
行動に移すようにもなりまし

ひいおじいちゃんの言葉と共

に生きていきたいし、ひいお

た。そしたら、少しずつ友達  
とも話せるようになりました。

じいちゃんのように笑いな

が

私がなぜ、そんなことがで  
きたのかというと、幼稚園の

ら生きていきたいです。だ

か

年長組の時に、ひいおじい  
ちゃんと交わした約束があつ

を忘れないで生きることを決

めました。

たからです。ひいおじいちゃ  
んは私に、

ひいおじいちゃんには、私

が約束したことを本当にでき

「奏音には、ずっと笑顔で長  
けているかやがんばっている私



## 高齢者交流事業「eスポーツ体験教室」開催のお知らせ

最近よく耳にする「eスポーツ」に、シニアの皆さんが気軽に楽しく触れる機会を提供します。ゲームを通じて楽しくフレイル予防しませんか？

開催日時 11月2日(木) 午前・午後のどちらかを選んで参加

【午前の部】午前10時～正午

【午後の部】午後1時30分～午後3時30分

会場 気仙沼市市民福祉センターやすらぎ

参加対象 気仙沼市内在住の65歳以上の高齢者

定員 各回20名

内容 ・説明「eスポーツとフレイル予防」  
・ゲーム体験

申込方法 参加ご希望の方は、10月27日(金)までに直接電話でお申込みください。

申込先 気仙沼市社会福祉協議会 (☎22-0709)





## 無料弁護士相談会 開催のお知らせ

借金、遺産相続、離婚問題など、  
法的なことについて弁護士が相  
談に応じます。

相談料は無料です。お気軽にご  
利用ください。

日 時 令和5年11月9日(木)

午前11時～午後3時30分まで

場 所 気仙沼市社会福祉協議会(気仙沼市東新城2-1-2)

申込み 予約制です。事前に電話で申込みが必要です  
(先着10名程度)

その他 弁護士は仙台弁護士会より派遣いただきます。  
問合せ申込先

気仙沼市社会福祉協議会 電話 22-0709

## 家族介護者リフレッシュ事業(市委託事業)開催のお知らせ

在宅でご家族を介護されている方を対象に、日常をはなれて心身をリフレッシュしてい  
ただく時間を用意してお待ちしております。

### 開催日時及び会場

本吉会場 10月23日(月) 本吉公民館 視聴覚室

気仙沼会場 10月24日(火) 気仙沼中央公民館 スタジオ2

唐桑会場 10月27日(金) 唐桑保健福祉センター燦さん館 研修室

※時間はいずれも午前10時から正午まで

参加対象 気仙沼市内で在宅介護をされているご家族様等

定 員 各回15名程度

参加費 500円

内 容 ■体験「アロマハンドマッサージ」と「アロマスプレーづくり」

講師 アロマセラピーインストラクター

畠山 和絵 さん(畠山薬局)

■交流カフェ お茶を飲みながら、参加者同士で交流・情報交換

申込方法 10月17日(火)まで直接電話でお申し込みいただくか、ご担当のケアマネジャーを  
通じてお申込みください。

申 込 先 気仙沼市社会福祉協議会 電話 22-0709



## 「24時間テレビ46 愛は地球を救う」へのご協力ありがとうございました

今年も本会駐車場を会場にチャリティ募金を実施し、市民の皆様から温かいご協力をいただきました。お預かりした募金を使い、市内の高校生から協力をいただき、本会マスコットキャラクター「あかりちゃん」のコインアート作成を行いました。







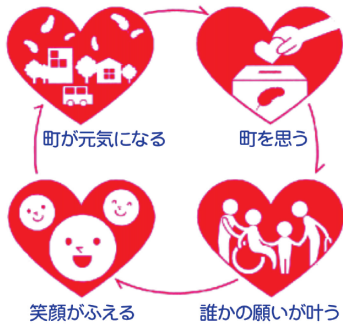
10月1日より

# 赤い羽根共同募金運動が



# 始まります

令和5年度の赤い羽根募金目標額は  
**7,950,000円**です



コロナ禍でも“つながる”ことを  
あきらめない地域コミュニティ  
づくりを支えます

共同募金は、だれもが安心して暮らせる  
「まちづくり」を進めるために必要な、  
住民団体やボランティア等による地域福祉  
活動を支援します。

## 令和4年度「赤い羽根募金」運動の実績報告

赤い羽根 募金総額

**7,947,269円**

内訳

|      |            |      |          |
|------|------------|------|----------|
| 毎戸募金 | 7,201,650円 | 学校募金 | 116,842円 |
| 個人募金 | 25,638円    | 法人募金 | 83,441円  |
| 職域募金 | 3,873円     | その他  | 515,825円 |

市民の皆さまからたくさんの善意をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。  
令和4年度にお寄せいただいた赤い羽根募金から、令和5年度は下記事業や活動に活用されます。

### 【地域福祉活動配分】

| 配分額(円)    | 団体名                                                                            |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 2,972,105 | 社会福祉法人<br>気仙沼市社会福祉協議会                                                          |
| 配分内容      | 市社協だより、ホームページ運営、敬老作文コンクール、高齢者交流事業、児童福祉施設等への歯ブラシ贈呈事業、災害ボランティア講座、ガイドヘルパー派遣事業等に配分 |



### 宮城県共同募金会からお知らせ 「むすび丸ピンバッジ募金」スタート!

宮城県共同募金会では、今年も仙台・宮城観光キャラクター「むすび丸」とコラボしたピンバッジを作製し、「むすび丸ピンバッジ募金」を行います。

第11弾となる今回は、近年、自然災害が多発していることから、宮城県内の市町村社会福祉協議会が行う防災資機材整備の助成に活用します。

10月より期間・数量限定で頒布しますので、皆さまからのご協力をよろしくお願いいたします。



今年も温かいご支援とご協力をお願いいたします



**赤い羽根共同募金**

宮城県共同募金会気仙沼市共同募金委員会  
(☎ 22-0709 気仙沼市社会福祉協議会内)

